

ビジネスにおけるメンズメイクは、年齢と役割に基づく「印象管理戦略」である

肌の「明るさ」で全年代共通の清潔感を担保し、「ツヤ」の調整で立場に最適な信頼感を演出する。

Context & Method

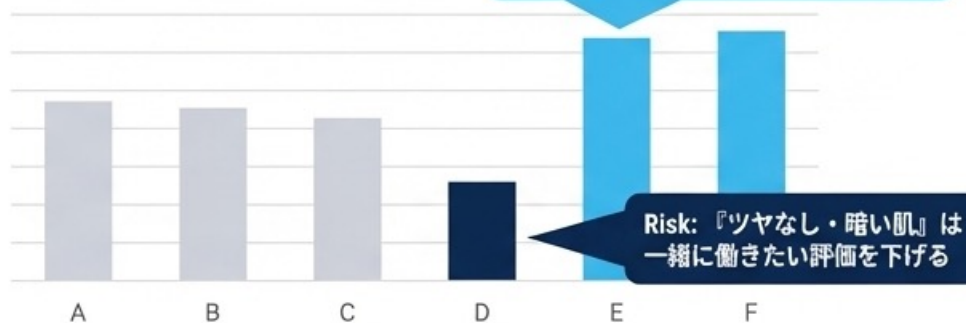


背景: 指針なきメンズ市場に対するアプローチ



手法: 生成AIモデル (3年齢層) に対し、「明るさ (3段階) × ツヤ (2段階)」の合計6水準の肌条件を作成。10~60代男女106名を対象としたビジネスシーンにおける第一印象評価テストを実施。

Insights & Data



1. 明るさ (Brightness) = 普遍的 (Universal)。誰でも好印象のベースになる。
2. ツヤ (Glossiness) = 条件付き (Conditional)。年齢により好みが反転する。

Takeaway Framework Matrix

1



若手社員
(Young Generation)

明るさ: 高

ツヤ: あり

若々しさ、
親しみやすさ

2



リーダー・高年齢層
(Leaders / Senior)

明るさ: 高*

ツヤ: なし

安心感、
信頼感、
年相応の威厳

*Exception: 『リーダーシップ』を強く演出したい場面では、あえて肌のトーンを暗めに設定することが有効なケースもある (データより)。